



4年目の「高齢者と小中学生とのお手紙交流」 10月29日(水)メッセージ引き渡し式での交流委員長さんの挨拶

中洲小学校では、高齢者の方々と手紙を通じて交流するのが、今年で4年目となります。高齢者の方々と交流することで、中洲地区が年々なかよくなっているように思い、今年は自分たちからお手紙を書くことをお願いして取り組むことにしました。・・・多くの中洲地区高齢者の方々と心がつながるといいなと思います。受け取ってください。(中洲小学校だより9号より)



10月31日(金)1年生遠足復活

コロナ禍によって中止されていた1年生秋の遠足が久しぶり



に復活しました。遠足の安全見守りには、安全教育部会(キヨロブラさん)やPTA役員さんも加わり、安全に注意しながら実施しました。目的地の片山展望台(地域の方が整備)からの眺めは、中洲小はじめ地域の様子が一望できるステキなものでした。

11月2日(日)地区文化祭こどもまつり(6年3組と5,6年有志)

「子ども達の手で『こどもまつり』っていいですね。」ある分館長さんの声…昨年に引き続き「こどもまつり」企画に関わってくれた6-3の皆さんと「来年のために…」と6-3の呼びかけで集まった5年生有志の皆さん20余名が「こどもまつり」にボランティア参加してくれました。今年は、6-3が考案したヨーヨー釣りに替わる「キーholderー釣り」や「おみくじ」もあり、大勢の子ども達が楽しんでいました。



10月29日(水)1,6年姉妹学級かりん収穫、31日(金)砂糖漬け(6年2組)

南中からお借りしたカリンの木から大きく育ったカリンの実を姉妹学級で収穫してきました。さらに、諏訪市や黒沢交流教育部会長さんが調達したカリンを加えて、翌週に、カリンの砂糖漬け作業を行いました。どちらの活動にも交流教育部会の部員の皆さん、助っ人として参加しました。



12月2日(火)お話会

「中洲小わくわく文庫」は、長年にわたって、年1回の「お話会」で一日かけて全校児童の皆さんに、楽しいお話を聞かせ続けています。今年も、「貧乏神と福の神」「ガマの油」「御神渡り」「ねずみくんのチョッキ」「ノクターン(ホルン演奏)」の公演を行い、拍手喝采でした。
※その日のうちにいたいた2年生の感想より「…ぞうさんがきたらのびちゃったけどぶらんこになっておもしろかったです…」「…がまのあぶらのやつおもしろかったよ」「…またやってください。まってるよ」



12月中「地域探検写真クラブ作品」中洲公民館に展示中

10月の華道クラブ作品展示に続いて、「地域探検写真クラブ作品」の展示を12月中行っています。階段に展示してありますので、公民館開館中(月～土 8:45～17:00)は、いつでもご覧になれます。

(来館時には、事務室に一声お声かけをお願いします。)



第3回学校運営協議会報告

12月4日(木)19時より多目的室にて実施

原基彰運営協議会長より •今日は、議題もいろいろあるが、忌憚のない意見交換をお願いしたい。

村瀬学校長より •現在学校では、子ども達が「なかよし」について、じっくり考えあうことをねらい、

「なかよし旬間」を実施している。12/3の「諏訪市子ども会議」や11/22の「子どもゆめプロ市長への提言」では、子どもがじっくり考え発表する場の大切さを実感した。各部の活動は子ども達の成長に役立っている。キヨロブラ活動も自立下校を推進し1年生の成長を助けてくれている。子どもの安全・自立について立ち止まって考えあう時期に来ているのではないか。

各部報告より •各部より夏休み以降の活動(詳細:学校だより・CS通信)について報告がありました。

今後、施設支援部会による修繕、PC支援部会によるタブレット立ち上げ支援が予定されています。

キヨロブラ活動の現状と今後について

安全教育部会長より、キヨロブラ活動を担う部会員の高齢化や新たな役員のなり手不足という現状報告がなされ、「キヨロブラ活動維持のための課題を解決することを目的に、来年度、キヨロブラ活動のあり方を検討する『検討委員会』を学校運営協議会内に設置してほしい。」との提案がありました。意見交換の後、検討委員会を設置し、9年度以降の組織や活動について検討していくことになりました。

8年度のキヨロブラ活動は、自立下校開始の時期を早めるなど活動の負担軽減を図れるよう見直し、継続して実施します。中洲地区に住む皆様、キヨロブラ活動への積極参加をお願いします。